



# つながる つたえる のびる 高ヶ坂小学校

HIP : <http://www.machida-tky.ed.jp/e-kougasaka/>

2025年6月30日  
町田市立高ヶ坂小学校  
校長 岩崎 直美  
学校だより 7月号

## 安全な廊下歩行

校長 岩崎 直美

「廊下を走らない」というのは、小学校の長年の課題です。保護者の皆さまや地域の皆さまの中には子どもどころ「廊下を走ってはいけない」と指導された記憶がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。廊下歩行について取り組んでいない学校はおそらくないと思います。

子どもの中にはつい走ってしまう子がいます。どんな様子かという、「走らないようにね。」と声をかけると、「はい」と返事をしつつも角を曲がると走ったり、友達に、「走っちゃだめだよ。」と言いながら、走って追いかけてたりします。一番見つかりやすい職員室前の廊下も走ります。

本校では学習スタンダード「高ヶ坂ファイブ」の一つに「チャイム着席」がありますが、子どもには、「授業や委員会の常時活動に遅れないようにしなくては」という気持ちが強いのでしょうか。休み時間は15分ありますが、子どもたちには余裕がないのかもしれません。また、長い廊下を見ると、衝動的に走りたくなるのかもしれません。(下の写真は、1階と2階の廊下です。)

6月16日(月)はオンラインによる朝会をしました。校長の話として「廊下を走らない」ことを伝えました。なぜ廊下を走ってはいけないのでしょうか。それは「けがをするから」と学校では説明をしますが、子どもの気持ちとしては、「自分はけがをしないから大丈夫」「急いで行かないといけない」「転ぶことなんてない」という思いがあり、説得力がないと感じました。そこで、「けがをするから」に加えて「けがをさせるから」と話しました。学校事故の報告書には、「走ってきた友達にぶつかってけがをした」「妊娠中の教員や保護者にぶつかった」などの事例があります。

学校生活において、我が子が走った友達にけがをさせられた、反対に、我が子が走ったために誰かを傷つけたとなると保護者の皆さまも穏やかではないと思います。廊下歩行は、「落ち着き」「思考力」「判断力」と相関関係があります。きちんと歩いて移動できる子がいる一方で、廊下を走る子は、道路に飛び出してしまうのではないかと心配です。これからも根気よく指導していくしかありません。

そこで、廊下歩行について「は・あ・と」の話をしました。「は」は「走らない」、「あ」は「遊ばない」、「と」は「飛び出さない」です。本校では、めざす児童像として、「話をする、話を聞く」の「は」、「挨拶をする」の「あ」、「友達を大切にする」の「と」、「は・あ・と」を子どもたちに伝えていきます。ですから「は・あ・と」に例えれば、子どもたちに分かりやすいと考えました。

他にも、「静かに歩こう」「右側を歩こう」と繰り返し指導したり、落ち着いた廊下歩行をしている子どもたちをその場で褒めたりしています。あと3週間ほどで一学期を終えますが、子どもたちが安全に、安心して学校生活を送るためにも継続して指導してまいります。

